4-168-285-**04**(1)

CDラジオ
カセットコーダー

取扱説明書・保証書

CFD-E501

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

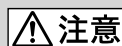
変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

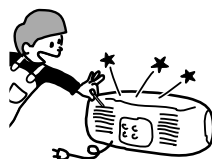
目次

火災

感電

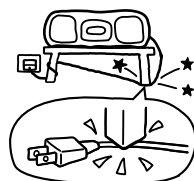
下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

禁止

海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

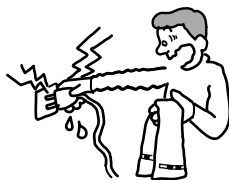
指示

雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない

感電の原因となります。ロッドアンテナ付き製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにアンテナをたたんで使用を中止し、その後は触れないでください。

接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

禁止

⚠注意

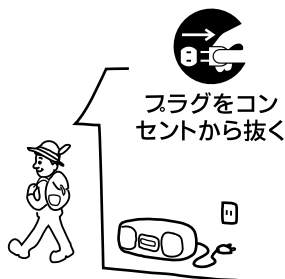
下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

分解禁止

移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
またロッドアンテナ付きの製品を持ち運ぶ際は、目のけがなどをしないように、アンテナを折りたたんでください。
長期間の外出･旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

幼児の手の届かない場所に置く

CDぶたなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状(星型、ハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ·破裂·発熱·発火·誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠危険 乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

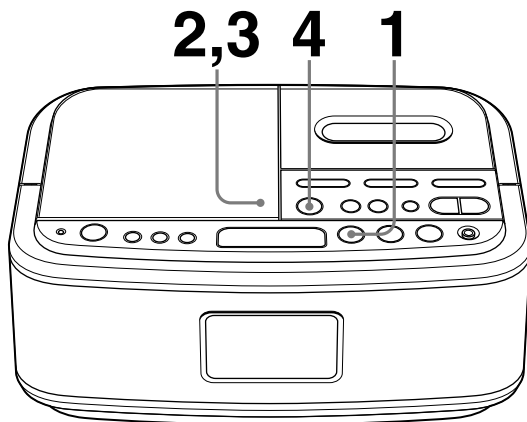
- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯·保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ·炎天下の車中など、高温の場所で使用·保管·放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

録音についてのご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- CDラジオカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用はできません。

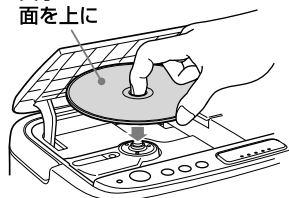
CDを聞く

準備➡電源コードを接続してください(28ページ参照)。

1

CDボタンを押す。

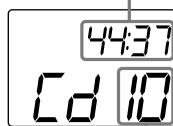
自動的に電源が入ります。

2

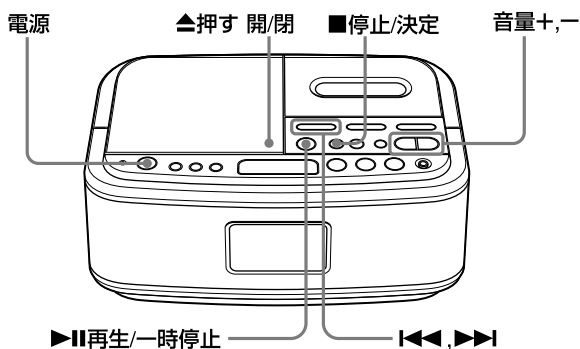
「≙押す開/閉」を押してCDぶたを開け、CDを入れる。

3

「≙押す開/閉」を押してCDぶたを閉める。

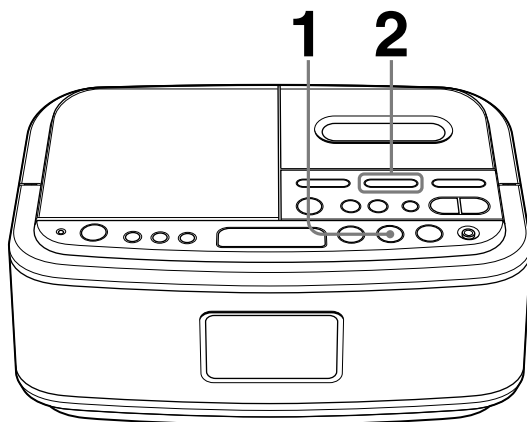
ディスクが回転し、総曲数と総再生時間を表示します。

本体表示窓

►II再生/一時停止ボタンを押す。

再生が始まります。

その他の操作

こんなときは	押すボタン
音量を調節する	音量＋*、－
再生を止める	■停止/決定
再生中に一時停止する	►II再生/一時停止* もう一度押すと再生が始まる。
曲の頭に戻す	I◄◄
次の曲へ進む	►►I
CDを取り出す	⏏押す 開/閉
電源を入/切する	電源

* ►II再生/一時停止ボタンと音量＋ボタンには凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

ラジオを聞く

準備➡電源コードを接続してください(28ページ参照)。

1

ラジオ・バンド切換・オートプリセットボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。

ボタンを押すと自動的に電源が入り、「FM」または「AM」が出ます。切り換えるときは、もう一度押します。

本体表示窓

2

選局+または−ボタンを押したままにし、表示窓の数字が動き始めたら指を離す。

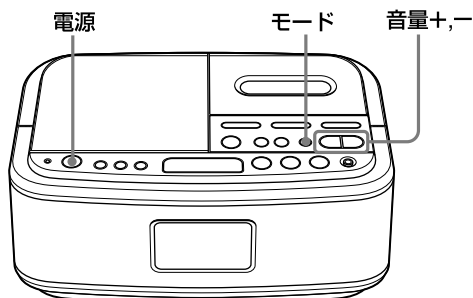
放送局を自動的に受信して止まります。受信できなかったときは、選局+または−ボタンを繰り返し押して、聞きたい局の周波数に合わせます。

本体表示窓

FMステレオ放送を受信したときに出る

その他の操作

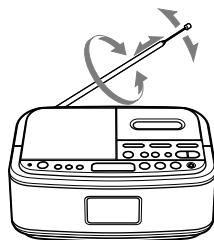
こんなときは	押すボタン
音量を調節する	音量＋*、−
電源を入/切する	電源

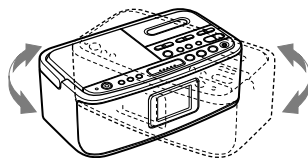
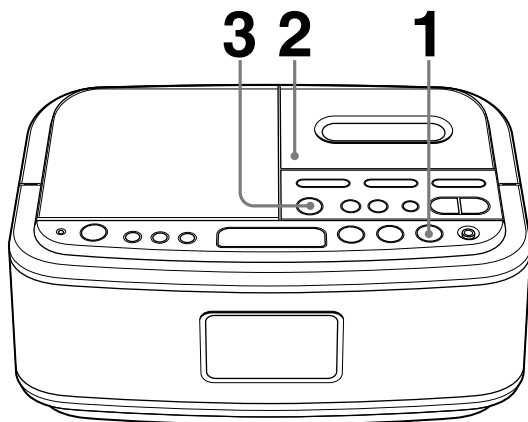
* 音量＋ボタンには凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

ちょっと一言

- 本機では、FMステレオ放送のみステレオで聞くことができます。AMのステレオ放送はモノラルになります。
- FMステレオ放送の雑音が多いときは、モードボタンを押して、表示窓に「Mono」を出します。音はモノラルになります。

受信状態をよくする

FM放送のとき

ロッドアンテナを伸ばし、向きを変える。

AM放送のとき

本体を最も受信状態の良い方向へ向ける。

テープを聞く －TYPE I(ノーマル)テープ専用

準備➡電源コードを接続してください(28ページ参照)。

1

テープボタンを押す。

自動的に電源が入ります。

2

「≜押す開/閉」を押してカセットを入れ、カセットぶたを閉める。

TYPE I (ノーマル)テープをお使いください。

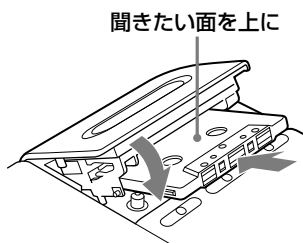
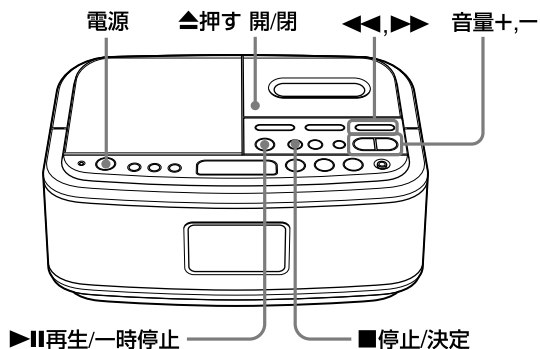
3

►II再生/一時停止ボタンを押す。

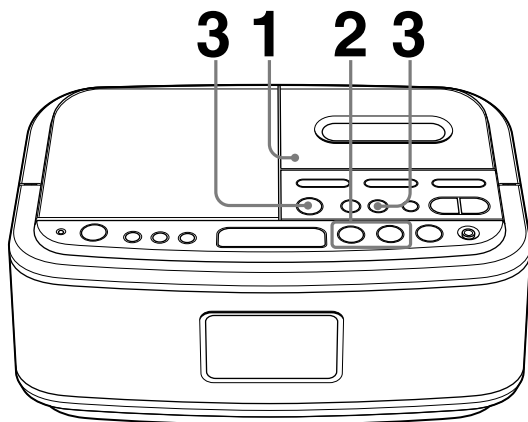
再生が始まります。

その他の操作

こんなときは	押すボタン
音量を調節する	音量＋*、−
再生を止める	■停止/決定
早送りや巻戻しをする	◀◀または▶▶
再生中に一時停止する	▶II再生/一時停止* もう一度押すと再生が始まる。
カセットを取り出す	⏏押す 開/閉
電源を入/切する	電源

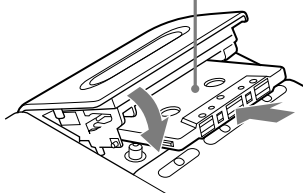
* ▶II再生/一時停止ボタンと音量＋ボタンには凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

ちょっと一言

表示窓のテープカウンターは、停止中に■停止/決定ボタンを押すと「000」に戻ります。あとから頭出しするのに便利です。カセットぶたを開けたときも「000」に戻ります。

録音する－TYPE I(ノーマル)テープ専用

準備➡電源コードを接続してください(28ページ参照)。

1

「≙押す開/閉」を押して録音用カセットを入れ、カセットぶたを閉める。

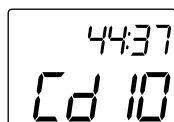
TYPE I(ノーマル)テープをお使いください。

2

録音するものを選ぶ。

本体表示窓

CDを録音するとき

CDボタンを押して、CDを入れる(8ページ参照)。

CDの途中から録音する場合は、⏮ または⏭ボタンで録音する曲番を選ぶ。

ラジオを録音するとき

ラジオ·バンド切換·オートプリセットボタンを押して、録音する放送局を受信する(10ページ参照)。

本体表示窓

3 録音を始める。

CDを録音するとき

1 ●録音/一時停止ボタンを1回押す。

REC が点滅し、録音スタンバイ状態になります。

2 ►II再生/一時停止ボタンを押す。

テープの録音が始まり、約8秒後にCDの再生が始まります。

ラジオを録音するとき

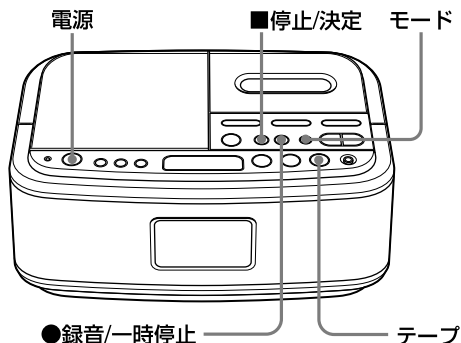
●録音/一時停止ボタンを2回押す。

ご注意

上記の手順でCDを録音する場合、録音中の一時停止はできません。

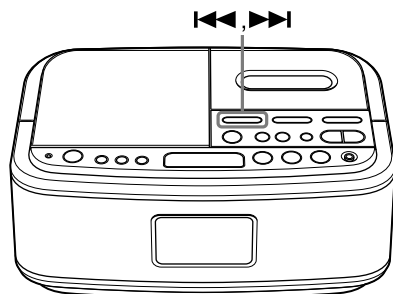
ちょっと一言

- テープが上面の終わりまでくると録音が止まります。反対面にも録音するときは、テープ面を入れ替えてから録音してください。
- 録音中、音量を変えても録音される音は変わりません。
- AM放送を録音するとき、手順3の●録音/一時停止ボタンを押したあとピーという雑音が出ていたら、モードボタンを繰り返し押してもっとも雑音が消えるISS表示(「ISS-1」、「ISS-2」、「ISS-3」)を選んでください。
- 録音した音を消去するには
  1 音を消したいカセットを入れる。
  2 テープボタンを押す。
  3 ●録音/一時停止ボタンを2回押す。
- 約8秒間の無録音部分を入れずにCDを録音したいときは、手順2の後にz録音/一時停止ボタンを2回押したあと、再生/一時停止ボタンを1回押します。

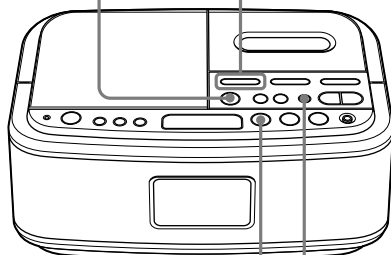
その他の操作

こんなときは	押すボタン
録音を止める 録音スタンバイ状態を解除する	■停止/決定
録音を一時停止する (ラジオ録音時のみ)	●録音/一時停止 もう一度押すと録音が始まる。
電源を入/切する	電源

聞きたい部分を探す

（サーチ）

CDの再生中に、⏮,⏭ボタンで曲の中の聞きたい部分を探すことができます。

探しかた	操作のしかた
聞きながら探す（サーチ）	再生中に⏮または⏭ボタンを押したままにする。
表示窓の再生時間を見ながら探す	一時停止中に⏮または⏭ボタンを押したままにする。

繰り返し聞く（リピート再生）

CDの1曲または全曲を繰り返して聞くことができます。シャッフル再生やプログラム再生を繰り返すこともできます。

1 CDボタンを押す。

「Cd」が表示されます。

2 次の操作をする。

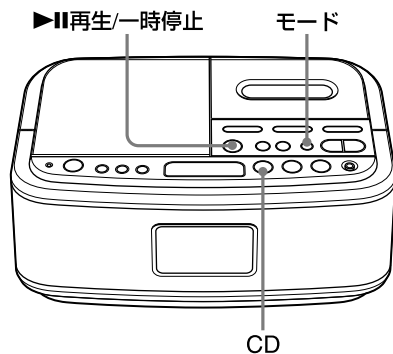
リピートの種類	操作のしかた
1曲だけ繰り返す	1 モードボタンを繰り返し押して「REP 1」を表示させる。 2 ⏮または⏭ボタンを繰り返し押して曲を選び、▶II再生/一時停止ボタンを押す。
全曲を繰り返す	1 モードボタンを繰り返し押して「REP ALL」を表示させる。 2 ▶II再生/一時停止ボタンを押す。
順不同に繰り返す	1 モードボタンを繰り返し押して「REP」と「SHUF」を表示させる。 2 ▶II再生/一時停止ボタンを押す。

プログラムした曲順で繰り返す	1 モードボタンを繰り返し押して「REP」と「PRGM」を表示させ、プログラムする（18ページ）。 2 ►II再生/一時停止ボタンを押す。

リピート再生をやめるには

モードボタンを繰り返し押して「REP」を消します。

順不同に聞く
（シャッフル再生）

CDに入っている全曲を順不同に聞くことができます。

1 **CDボタンを押す。**
「Cd」が表示されます。

2 **モードボタンを繰り返し押して「SHUF」を表示させる。**

3 **►II再生/一時停止ボタンを押す。**
シャッフル再生が始まります。

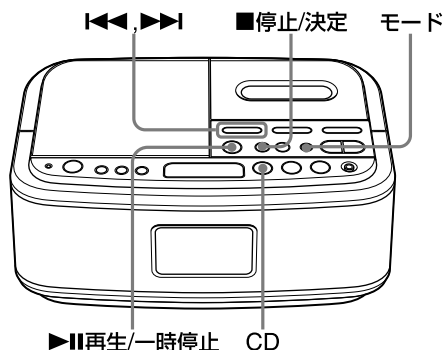
シャッフル再生をやめるには

モードボタンを繰り返し押して「SHUF」を消します。

ご注意

シャッフル再生中は、I◄◄ ボタンを押しても前の曲に戻すことはできません。

聞きたい曲を好きな順に聞く（プログラム再生）

聞きたい曲を好きな順に20曲までプログラムすることができます。

1 **CDボタンを押す。**
「Cd」が表示されます。

2 **停止中にモードボタンを繰り返し押して、「PRGM」を表示させる。**

3 **⏮または⏭ボタンを押して曲番を選び、■停止/決定ボタンを押す。**

この操作を繰り返します。

4 **▶II再生/一時停止ボタンを押す。**
プログラムした順に再生が始まります。

プログラム再生をやめるには

停止中にモードボタンを繰り返し押して「PRGM」を消します。

曲順を確認するには

停止中に、■停止/決定ボタンを繰り返し押します。押すたびに、プログラムした順で曲番が表示されます。

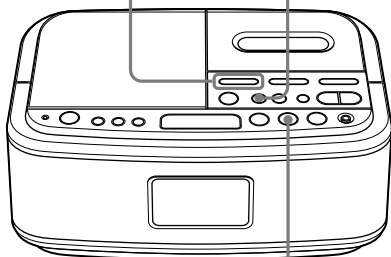
プログラムを変更するには

CDぶたを開けるとプログラムの内容は消えます。CDぶたを閉じてプログラムし直します。

ちょっと一言

- プログラム再生が終わっても、設定したプログラムは残っています。▶II再生/一時停止ボタンを押すと同じプログラムをもう一度聞くことができます。ただし、CDぶたを開けるとプログラムの内容は消えます。
- プログラム再生を録音するには
  1. プログラムを設定する。
  2. 録音用カセットを入れる。
  3. ●録音/一時停止ボタンを押す。
     録音スタンバイ状態になります。
  4. ▶II再生/一時停止ボタンを押す。
     テープが動き始めてから約8秒後にCDの再生が始まります。

放送局を記憶させる

受信状態の良い放送局を自動的に記憶させ、次からは記憶させた番号（プリセット番号）でその局を選ぶことができます。FM20局、AM10局で、合計30局まで記憶できます。

1 ラジオ・バンド切換・オートプリセットボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。

2 「AUtO」が点滅するまでラジオ・バンド切換・オートプリセットボタンを押したままにする。

3 ■停止/決定ボタンを押す。

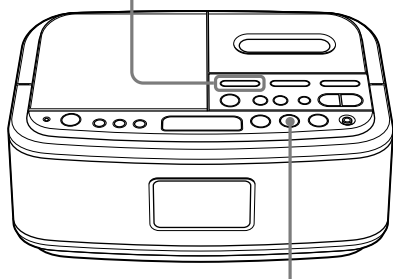
プリセット番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局が自動的に記憶されます。

電波が弱くオートプリセットで記憶できなかった放送局を記憶させるときや、特定のプリセット番号に記憶させたいときは

1. ラジオ･バンド切換･オートプリセットボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。
2. 記憶させたい放送局を受信する。
3. ■停止/決定ボタンを約2秒間押したままにする。
4. プリセット＋（▶▶I）またはー（I◀◀）ボタンを繰り返し押して、記憶させたいプリセット番号を選ぶ。
5. ■停止/決定ボタンを押す。
   新しい局を記憶すると、同じプリセット番号に記憶されていた前の局は消えます。

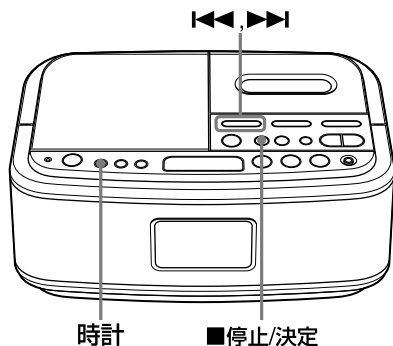
ラジオ

記憶させた放送局を聞く（プリセット選局）

あらかじめ記憶させておいた放送局を、簡単に選ぶことができます。

1 ラジオ・バンド切換・オートプリセットボタンを押して、FMまたはAMを選ぶ。

2 プリセット＋（▶▶I）またはー（I◀◀）ボタンを繰り返し押して、聞きたい局のプリセット番号を選ぶ。

時計を合わせる

本機の時計は、時刻を合わせるまで表示窓で「– – : – –」が点灯しています。

準備➡電源コードを接続してください(28ページ参照)。

1 「CLOCK」、「AM」または「PM」、時計表示の「時」が点滅するまで時計ボタンを押したままにする。

2 時刻を合わせる。

① ⏮ または⏭ボタンを繰り返し押して「時」を合わせ、■停止/決定ボタンを押す。

② ⏮ または⏭ボタンを繰り返し押して「分」を合わせる。

3 ■停止/決定ボタンを押す。

「00」秒から時計が動き出します。

電源が入っているときに時計を見るには

時計ボタンを押すと、時計が表示されます。もう一度押すと通常の表示に戻ります。

「– – : – –」が点灯しているときは

停電などで時計が止まったことを示しています。時計を合わせなおしてください。

ちょっと一言

- 本機の時計は12時間表示です。
  真夜中 :「AM12:00」
  正午　 :「PM12:00」
- 秒まで正確に合わせるには、電話の時報サービス(117番)をご利用になると便利です。
- 表示窓に「PRGM」の表示が出ているときは、時計ボタンを押しても時計は表示されません。

本機には、次のようなタイマー機能があります。時計を合わせてからお使いください。

めざましタイマー(22ページ)
指定した時刻にCDやラジオ、テープを再生します。

アラーム(23ページ)
指定した時刻にアラーム音を鳴らします。

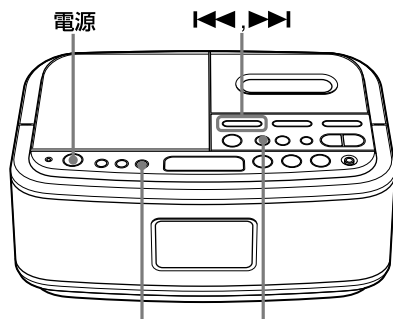
タイマー録音(26ページ)
指定した時刻にラジオからテープへの録音を始めます。

おやすみタイマー *(25ページ)
指定した時間がたつと電源を切ります。

* 時計を合わせていなくても動作します。

音楽でめざめる

(めざましタイマー)

好きな音楽やラジオ番組をめざまし代わりにすることができます。

本機の時計を合わせてから操作してください(21ページ参照)。

1 めざましタイマー設定状態にする。

めざまし/タイマーボタンを繰り返し押して「⏻」を表示させ、■停止/決定ボタンを押します。

■停止/決定ボタンは4秒以内に続けて押してください。

「⏻」、「AM」または「PM」、時計表示の「時」が点滅します。

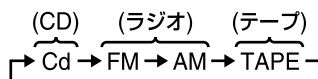
2 再生を始める時刻を設定する。

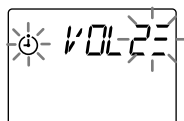
① ⏮または⏭ボタンを繰り返し押して「時」を合わせ、■停止/決定ボタンを押す。

② ⏮または⏭ボタンを繰り返し押して「分」を合わせ、■停止/決定ボタンを押す。

3 音源を選ぶ。

⏮または⏭ボタンを繰り返し押して、めざまし代わりにしたい音源とバンド(ラジオの場合)を選び、■停止/決定ボタンを押します。

(CD) (ラジオ) (テープ)
→ Cd → FM → AM → TAPE

4 めざましの音量を設定する。

⏮または⏭ボタンを繰り返し押して、めざましタイマー再生時の音量を表示させ、■停止/決定ボタンを押します。

5 手順3で選んだ音源の準備をする。

音源	準備
CD	CDを入れる
ラジオ	手順3で選んだバンド(FM、AM)の放送局を受信する
テープ	テープを入れる

ラジオを音源に選んだ場合、必ず手順3で選んだバンドの放送局を受信してください。

6 予約待機状態にする。

電源ボタンを押して電源を切ります。

通常の時計表示に加え、めざましタイマーの再生が始まる時刻が表示されます。

予約した時刻になると電源が自動的に入り、再生が始まります。

60分間再生したあと、自動的に電源が切れます。

めざましタイマーの予約内容を確かめたり、変更するには

めざまし/タイマーボタンを押したあと、■停止/決定ボタンを押します。■停止/決定ボタンを押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容を表示させて、そこから設定をやり直します。

めざましタイマーを設定したあとでラジオなどを聞くには

電源を入れれば、通常の操作ができます。
電源を切って予約待機状態にする前に、聞きたい放送局を受信してください。
(音源がラジオの場合、設定した放送局とは別の放送局を聞くと、予約した時刻にはその別の放送局が受信されます。ただし、設定したバンドとは異なるバンドの放送局を聞いたときは受信しなおす必要はありません。)

めざましタイマー再生中、途中で止めるには

電源ボタンを押して、電源を切ります。

めざましタイマー予約を取り消すには

めざましタイマーは毎日同じ時刻に働きます。めざましタイマーを働かせたくない場合は、めざまし/タイマーボタンを繰り返し押して表示窓の「⏻」を消します。

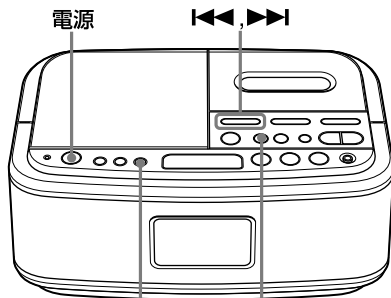
ご注意

- 大きな音量に驚かないように、音量設定をしてください。
- めざましタイマーとタイマー録音(26ページ)とアラームは同時に予約できません。

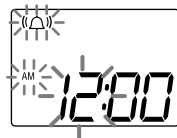
ちょっと一言

- タイマー設定をしたあとで本機を使用した場合は、手順5をもう一度行って、音源などの準備をしたあと電源を切ってください。
- 手順1でめざまし/タイマーボタンを押してから4秒以内に■停止/決定ボタンを押さなかった場合、前に設定した時刻のままタイマーまたはアラームの設定が完了します。再度時刻や音源などを設定しなおしたいときは、もう一度めざまし/タイマーボタンを押したあと、4秒以内に■停止/決定ボタンを押してください。

アラーム音でめざめるには

指定した時刻にアラーム音を鳴らすことができます。

本機の時計を合わせてから操作してください(21ページ参照)。

1 アラーム設定状態にする。

めざまし/タイマーボタンを繰り返し押して「((🔔))」を表示させ、■停止/決定ボタンを押します。
■停止/決定ボタンは4秒以内に続けて押してください。

「((🔔))」、「AM」または「PM」、時計表示の「時」が点滅します。

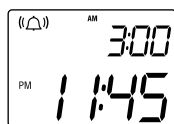
2 アラーム音を鳴らす時刻を設定する。

① ⏮または⏭ボタンを繰り返し押して「時」を合わせ、■停止/決定ボタンを押す。
② ⏮または⏭ボタンを繰り返し押して「分」を合わせ、■停止/決定ボタンを押す。

次のページへつづく

タイマー

3 予約待機状態にする。

電源ボタンを押して電源を切ります。通常の時計表示に加え、アラーム音の鳴る時刻が表示されます。

予約した時刻になると、アラーム音が約5分間鳴ります。

アラームの予約内容を確かめたり、変更するには

めざまし/タイマーボタンを押したあと、■停止/決定ボタンを押します。■停止/決定ボタンを押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容を表示させて、そこから設定をやり直します。

アラームを止めるには

めざまし/タイマーボタンまたは電源ボタンを押します。

アラームを取り消すには

アラームは毎日同じ時刻に働きます。アラームを働かせたくない場合は、めざまし/タイマーボタンを繰り返し押して表示窓の“((🔔))”を消してください。

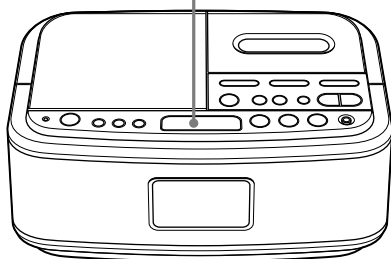
ご注意

- アラーム音の音量は調節できません。
- めざましタイマー（22ページ）とタイマー録音（26ページ）とアラームは同時に予約できません。

ちょっと一言

手順1でめざまし/タイマーボタンを押してから4秒以内に■停止/決定ボタンを押さなかった場合、前に設定した時刻のままタイマーまたはアラームの設定が完了します。再度時刻や音源などを設定しなおしたいときは、もう一度めざまし/タイマーボタンを押したあと、4秒以内に■停止/決定ボタンを押してください。

二度寝を防止するには

めざましタイマーやアラームを止めても、また5分後に鳴り始めます（スヌーズ機能）。

めざましタイマーの再生やアラーム音が鳴っている間に、明るさ･スヌーズボタンを押します。再生やアラーム音が一時停止し、5分後に再び鳴り始めます。

スヌーズ機能を取り消すには

スヌーズ機能が働いているときにめざまし/タイマーボタンを押します。

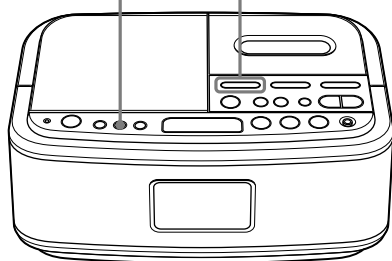
ちょっと一言

- スヌーズ機能が働いているときは、表示窓の表示が点滅します。
- スヌーズ機能は、連続して6回まで使えます。また、6回未満であっても、1時間を経過するとスヌーズ機能は使えなくなります。

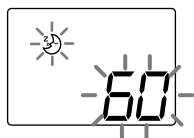
ご注意

スヌーズ機能が働いているときは、時計ボタン、電源ボタン、めざまし/タイマーボタン以外のボタンは使えません。

音楽を聞きながら眠る
(おやすみタイマー)

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分、20分、30分、60分、90分、120分の中から選べます。音楽やラジオ番組を聞きながら安心してお休みになれます。

1 聞きたい音源の再生を始める。

2 おやすみタイマーボタンを繰り返し押して、時間(分)を選ぶ。

おやすみタイマーボタンを押してから、⏮または⏭ボタンを繰り返し押して時間を選ぶこともできます。
「60」→「90」→「120」→「OFF」→「10」→「20」→「30」と変わります。

おやすみタイマーを取り消すには

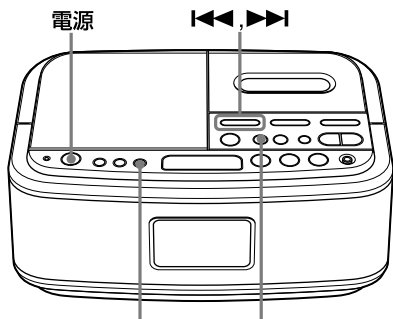
おやすみタイマーボタンを繰り返し押して、「OFF」を表示させます。
または電源ボタンを押して、電源を切ります。

ちょっと一言

- めざましタイマーとおやすみタイマーを組み合わせて使うことができます。このときは、先にめざましタイマーを予約してから(22ページ)、おやすみタイマーを設定します。
- めざましタイマーとおやすみタイマーで違う音源を聞くことができます。ただし、ラジオではめざましタイマーで設定したバンドと違うバンドの局をおやすみタイマーに設定することはできますが、めざましタイマーで設定したバンドと同じバンド内の別の局を設定することはできません。
- めざましタイマーとおやすみタイマーで違う音量を設定できます。例えば小さな音量で眠り、大きな音量でめざめることができます。
- おやすみタイマーが働いているときは、「(おやすみ)」表示が点灯します。

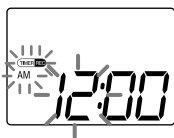
タイマー

タイマー録音

ラジオからテープへの録音を、指定した時間に始めることができます。

本機の時計を合わせてから操作してください（21ページ参照）。

1 タイマー録音設定状態にする。

めざまし/タイマーボタンを繰り返し押して「TIMER REC」を表示させ、■停止/決定ボタンを押します。

■停止/決定ボタンは4秒以内に続けて押してください。

「TIMER REC」、「AM」または「PM」、時計表示の「時」が点滅します。

2 タイマー録音を開始する時刻を設定する。

① ⏮または⏭ボタンを繰り返し押して「時」を合わせ、■停止/決定ボタンを押す。

② ⏮または⏭ボタンを繰り返し押して「分」を合わせ、■停止/決定ボタンを押す。

3 バンドを選ぶ。

⏮または⏭ボタンを押して録音したい放送局のバンドを選び、■停止/決定ボタンを押します。

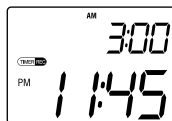
4 めざましの音量を設定する。

⏮または⏭ボタンを繰り返し押して、タイマー録音時にスピーカーから出る音量を表示させ、■停止/決定ボタンを押します。

5 テープを入れ放送局を受信する。

ここでバンドを変更しても無効です。手順3で選んだバンドの放送局を受信してください。

6 予約待機状態にする。

電源ボタンを押して電源を切ります。通常の時計表示に加え、タイマー録音が始まる時刻が表示されます。

予約した時刻になると、電源が自動的に入り、録音が始まります。

60分間録音したあと、自動的に電源が切れます。

タイマー録音の予約内容を確かめたり、変更するには

めざまし/タイマーボタンを押したあと、■停止/決定ボタンを押します。■停止/決定ボタンを押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容を表示させて、そこから設定をやり直します。

タイマー録音を設定したあとでラジオなどを聞くには

電源を入れれば、通常の操作ができます。
電源を切って予約待機状態にする前に、聞きたい放送局を受信してください。
（ラジオの場合、設定した放送局とは別の放送局を聞くと、予約した時刻にはその別の放送局が受信されます。ただし、設定したバンドとは異なるバンドの放送局を聞いたときは受信しなおす必要はありません。）

タイマー録音中、途中で止めるには

電源ボタンを押して、電源を切ります。

タイマー録音予約を取り消すには

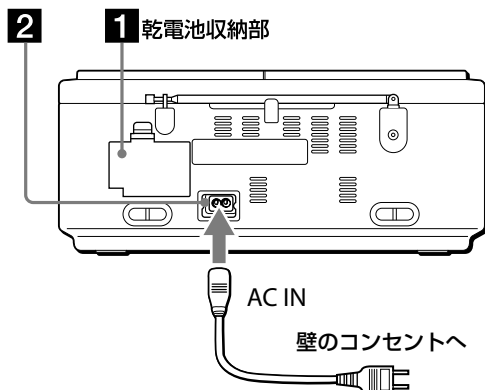
タイマー録音は毎日同じ時刻に働きます。タイマー録音を働かせたくない場合は、めざまし/タイマーボタンを繰り返し押して表示窓の「TIMER REC」を消します。

ご注意

- 大きな音量に驚かないように、音量設定をしてください。
- めざましタイマー（22ページ）とタイマー録音とアラーム（23ページ）は同時に予約できません。

ちょっと一言

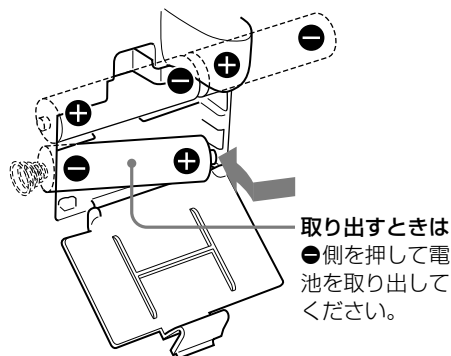
- タイマー設定をしたあとで本機を使用した場合は、手順5をもう一度行なって、音源などの準備をしたあと電源を切ってください。
- 手順1でめざまし/タイマーボタンを押してから4秒以内に■停止/決定ボタンを押さなかった場合、前に設定した時刻のままタイマーまたはアラームの設定が完了します。再度時刻や音源などを設定しなおしたいときは、もう一度めざまし/タイマーボタンを押したあと、4秒以内に■停止/決定ボタンを押してください。

電源を準備する

1 メモリー用乾電池を入れる。

停電時に内蔵タイマーや放送局の記憶内容を保つために、メモリー用乾電池を入れてお使いください。

単3形乾電池3個（別売り）

ご注意

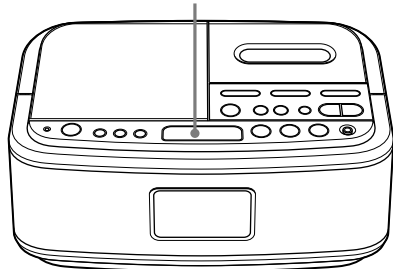
メモリー用乾電池のみでは、本機は動作しません。必ず電源コードを接続してお使いください。

2 電源コードを接続する。

本機のAC IN端子へ差し込んだあと、壁のコンセントへ差し込んでください。

ちょっと一言

乾電池を出し入れするときは、CDを取り出しておいてください。CDがずれて、傷つくおそれがあります。

表示窓の明るさを変える

表示窓の明るさを4段階（0〜3）で調節できます。

明るさ·スヌーズボタンを繰り返し押すか、押し続け、希望の明るさになったら手を離します。
電源が入っているときと、切れているとき、それぞれ別の明るさに設定することができます。

ご注意

スヌーズ機能が働いているときは、表示窓の明るさを変えることはできません。

準備

使用上のご注意

取り扱いについて

- CDぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っています。次のようなものは本機のそばに置かないでください。磁気が変化して不具合がおきることがあります。
  - 時計
  - クレジットカードなどの磁気カード
  - カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ

  また、本機をテレビの近くには置かないでください。テレビの画像が乱れることがあります。
- カセットデッキを長い間使わなかったときは、数分間再生状態にして、ならし運転をしてください。よい状態でお使いいただけます。

CDについて

- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状(星型、ハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。

CD-R/CD-RWについて

- 本機は、CD-DAフォーマット*で記録されたCD-R(レコーダブル)およびCD-RW(リライタブル)ディスクを再生することができます。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。

  * CD-DAはCompact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている、音楽収録用の規格です。

著作権保護技術付き音楽ディスクについて

- 本機は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠してないものもあり、本機で再生できない場合があります。

DualDiscについて

- DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証致しません。

CDの取り扱いかた

- 文字の書かれていない面(再生面)に触れないように持ちます。
- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。

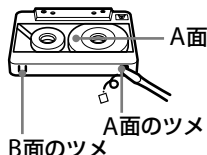
- 長時間再生しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとそりの原因になります。

CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

大切な録音を守る—誤消去防止

ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をセロハンテープなどでふさげば再び録音できます。

長時間テープをお使いのときは

90分を越えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープです。こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しなどを繰り返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

エンドレスカセットテープについて

エンドレスカセットテープはお使いにならないでください。機械に巻き込まれる場合があります。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。ご不明な点があるときは38ページに記載されているソニーの相談窓口へお問い合わせください。

共通

症状	チェック項目
電源が入らない。	• 電源コードをAC IN端子とコンセントにしっかり差し込む。
音が出ない。	• 表示窓に使用したい機能が表示されているか確認する。 • 音量を調節する。 • スピーカーで聞くときは、ヘッドホンをヘッドホン（🎧）端子から抜く。
雑音が入る。	• 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。 ➔ 携帯電話などを本機から離して使用する。
表示窓が明るい／暗い。 電源を切っても表示窓が明るい。	• 表示窓の明るさを調整する。（29ページ）

CD部

症状	チェック項目
再生が始まらない。	• CDぶたが閉まっていることを確認する。
CDが入っているのに「no dISC」が表示される。	• CDが裏返し。 ➔ 文字のある面を上にする。 • CDの汚れがひどい。 ➔ クリーニングする。（30ページ） • レンズに露（水滴）がついている。 ➔ CDを取り出してCDぶたを開けたまま1時間くらい置く。 • CD-R/CD-RWに何も記録されていない。 • ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-R/CD-RWディスクは再生できません。 • CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。

次のページへつづく

CD部

症状	チェック項目
音がとぶ。 雑音が入る。	• CDによっては音がとぶことがあります。音量を下げてください。 • CDの汚れがひどい。 → クリーニングする。（30ページ） • CDに傷がある。 → CDを取り換える。 • 振動のない場所に置く。 • CD-R/CD-RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって、再生された音がとんだり雑音が入ることがあります。 • 著作権保護技術付音楽ディスクは、再生できない場合があります。（30ページ）
CDを聞くと、近くのテレビやラジオに雑音が入る。	• 本機をテレビやラジオからできるだけ離す。

ラジオ部

症状	チェック項目
FM受信時、ステレオにならない。	• モードボタンを押して、「St」を表示させる。 • ステレオ放送のときのみステレオで聞くことができます。
雑音が入る。	• FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。モードボタンを押して「Mono」を表示させてください。音はモノラルになります。 • テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。
AMラジオの録音時、「ピー」という音が出る。	• モードボタンを繰り返し押して、最も雑音が少なくなるISSを選ぶ。（15ページ）

テープ部

症状	チェック項目
操作ボタンを押してもテープが動かない。	• カセットぶたをきちんと閉める。
前の録音が完全に消えない。	• 消去ヘッドをクリーニングする。(34ページ) • TYPE II(ハイポジション)、TYPE IV(メタル)テープを使っている。 ➔ 録音できるテープはTYPE I(ノーマル)のみです。
録音ができない。	• カセットを正しく入れる。 • デッキに入れたカセットのツメが折れていたら、穴をセロハンテープなどでふさぐ。(30ページ)
雑音が多い。 音質が良くない。	• ヘッド、ピンチローラー、キャプスタンをクリーニングする。(34ページ) • 市販のヘッド消磁器を使ってヘッドを消磁する。(34ページ)
音質が歪む。	• TYPE II(ハイポジション)またはTYPE IV(メタル)テープを使っている。 ➔ TYPE I(ノーマル)テープを使ってください。

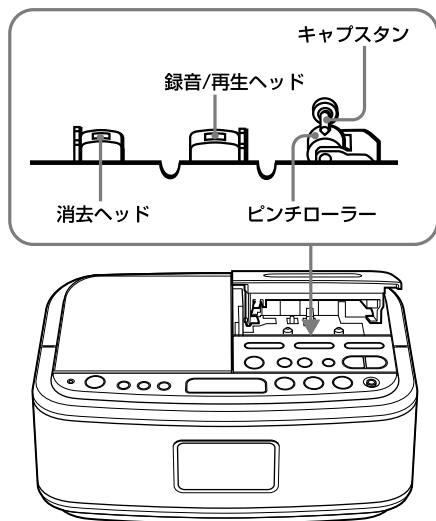
タイマー(時計)部

症状	チェック項目
タイマーが働かない。	• 時計を正しい時刻に合わせる。 • 電源コードで使用中、停電があった。 • 「⏲」表示が出ていることを確認する。
めざましタイマーやタイマー録音で設定した放送局とは別の放送局が受信される。	• めざましタイマーやタイマー録音を設定したあとで同じバンドの別の放送局を聞いた場合は、再生/録音したい放送局を受信しなおす。
めざましタイマーやアラームを止めてもまたすぐに鳴りだす。	• タイマーが鳴りだしたら、めざまし/タイマーボタンを押す。
前の日にタイマーを止めたのに、また次の日にタイマーが働く。	• めざまし/タイマーボタンを繰り返し押して「⏲」、「TIMER REC」、「((🔔))」が出ていない状態にする。

本機はマイコンを使用し、各連係動作を行っています。そのため、電源事情その他により、動作が不安定になることがあります。上記以外で動作が正常でないときは、電源コードをはずし、メモリー用乾電池を取り出し、表示窓の表示がすべて消えてから、再びメモリー用乾電池を入れ、電源コードをつないでください。正しく動く場合があります。それでも正しく動かないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

お手入れ

ヘッド部のクリーニング

長い間使っていると、ヘッドが汚れてきて音が悪くなったり、途切れたり、あるいは録音ができなくなったりすることがあります。よりよい音でステレオ録音、再生を楽しむために、10時間程度使ったら、市販の綿棒とクリーニング液でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。

録音/再生ヘッドの消磁

長い間使っていたり、録音/再生ヘッドに磁気を帯びたドライバーなどが触れたりすると、ヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をするとボソボソという雑音が入ります。このようなときは、市販のヘッド消磁器を使って録音/再生ヘッドを消磁してください。

キャビネットのクリーニング

本体の表面が汚れたときは、柔らかい布でから拭きします。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではCDラジオカセットコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウ·フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz - 20,000 Hz ＋0/－1 dB(JEITA*)

ラジオ部

受信周波数	FM: 76 MHz - 90 MHz AM: 531 kHz - 1,629 kHz
アンテナ	FM: ロッドアンテナ AM: フェライトバーアンテナ内蔵

カセットデッキ部·共通部

トラック方式	4トラック2チャンネル
スピーカー	フルレンジ: 8 cm、コーン型6 Ω、2個
早巻き時間	約2分(ソニーカセットテープC-60使用)
周波数範囲	TYPE I(ノーマル)カセット 80 Hz - 12,500 Hz(JEITA)
出力端子	ヘッドホン(ステレオミニジャック)1個 負荷インピーダンス 16 Ω - 64 Ω
実用最大出力	1.5 W ＋ 1.5 W (JEITA/6 Ω)
電源	本体用: 家庭用電源 (AC100 V 50/60 Hz) メモリー用: 単3形乾電池3個使用 (DC 4.5 V)
消費電力	15 W
最大外形寸法	約308 mm × 132 mm × 214 mm (幅 × 高さ × 奥行き) (最大突起部含む)(JEITA)
質量	本体　約2.7 kg ご使用時　約2.8 kg (乾電池、CD、テープ含む)
付属品	電源コード(1)** 取扱説明書·保証書(1) 操作早見表(1) ソニーご相談窓口のご案内(1)

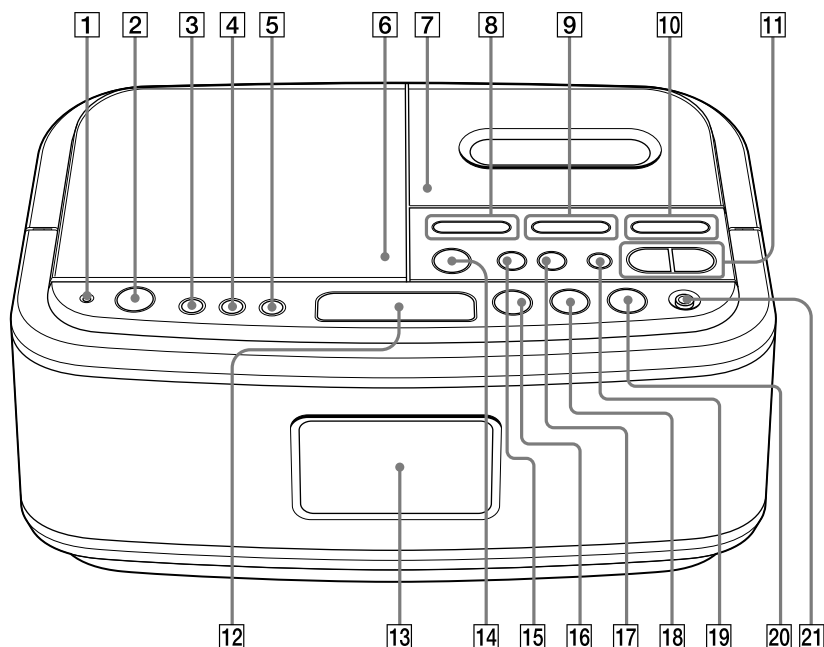
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

** 付属の電源コードセットは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

各部のなまえ

くわしい説明は（　）内のページをご覧ください。

本体

1 電源ランプ

2 電源ボタン（9、11、13、15、22、23、24、25、27）

3 時計ボタン（21）

4 おやすみタイマーボタン（25）

5 めざまし/タイマーボタン（22、23、24、26、27）

6 ≜押す 開/閉（CDぶた）（8、9）

7 ≜押す 開/閉（カセットぶた）（12、13）

8 CD/ラジオ⏮、⏭ ／プリセット＋、－ボタン（9、14、16、18、19、20、21、22、23、25、26）

9 選局＋、－ボタン（10）

10 テープ◀◀、▶▶ボタン（13）

11 音量＋、－ボタン（9、11、13）

12 明るさ･スヌーズボタン（24、29）

13 表示窓

14 ▶II再生/一時停止ボタン（9、12、13、15、16、17、18）

15 ■停止/決定ボタン（9、13、15、18、19、21、22、23、24、26）

16 CDボタン（8、14、16、17、18）

17 ●録音/一時停止ボタン（15）

18 ラジオ･バンド切換･オートプリセットボタン（10、14、19、20）

19 モードボタン（11、15、16、17、18）

20 テープボタン（12）

21 ヘッドホンジャック（ステレオミニジャック）

索引

五十音順

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通）0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「304」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1